

コロナ感染10代死亡

大阪 国内初、基礎疾患あり

大阪府の吉村洋文知事は八日の記者会見で、新型コロナウイルスに感染した十代後半の男性が死亡したと明らかにした。基礎疾患に加え、他の重症化リスクも抱えていたという。ワクチンは未接種だった。厚生労働省によると十代の死亡例は国内で初めて。

吉村氏によると、男性は一日に緊急搬送された大阪市内の病院で陽性と判明。当初から重症患者として治療を受けていたが、七日に死亡した。

一方、吉村氏は「一般論として十代の死亡率が高い」というわけではない」と強調。学校など教育現場での感染対策について、今回の事例を受けて変更する考えはないと説明した。

県内新たに16人感染

県は八日、新たに十歳未満から九十代の男女十六人が、新型コロナウイルスに感染したと発表した。三日連続で前の週の同じ曜日と同数の感染者を下回った。

七日に感染が発表された坂井市兵庫小学校の児童の同居家族三人が新たに陽性となった。このうち二人は同校の児童、四十代の女性となった。このうち二人は同校の児童、四十代の女性と同市の三國高校の職員。

兵庫小では他の児童や教職員が検査で陰性だったため、九日から授業を再開する。三國高の職員は六日に出勤したが生徒との接触はなく、休校はしない。

同市木部小学校でも児童二人の感染が判明。一人は、陽性となった兵庫小の児童と校外の活動で接触があった。木部小は全ての児童と教職員計百十人を検査

県内の新型コロナウイルス感染状況(8日)

感染者	総人数	2755(+16)
	直近1週間	152(-10)
	人口10万人当たり	19.7(-1.3)
症状・医療の状況	死亡	36(0)
	重症	2(0)
	軽症ほか	147(-17)
	宿泊療養施設	50(-2)
	県外入院療養	0(0)
	退院	2520(+35)
病床占有率		35.1%
ICU占有率		8.3%

※かつこ内は前日からの増減。単位は人
 ※占有率には県外で感染確認された人を含む

し、九日まで休校する。クラスター(感染者集団)が発生した同市の二にしむら接骨院三國院)では、利用者とのつながりでも感染した人の家族一人が陽性となった。この三次感染のケースを合わせ、一連の感染者は十五人となった。

市町別では坂井市七人、福井市四人、敦賀市一人、越前市、美浜町、おおい町各一人。(浅井貴司、曾根智貴)

人。酸素吸入が必要な中等症患者は一人増えて五人。また、県は各感染系統からデルタ株とみられるL452R変異株が検出されるかどうかを調べた検査の結果を発表。今月一〜七日に発生した新たな感染系統では、検査した十四系統全てでL452R変異株が検出された。